

◎平成29年度一般会計予算の概要

- 総額48億6800万円（前年比18.4%増）
過去10年で最大の大型予算
- 町なか再生を目指す社会資本総合整備事業を進める 7億6363万円
 - ・地域交流センター建設 5億5905万円
 - ・町道建設・用地取得 1億0867万円
 - ・緑地公園整備事業 4545万円
 - ・弓道場移転事業 4303万円
- あづみ病院建設補助金 3000万円
- 人間ドック補助金（補助金増）548万円
- 第3子・3歳以上保育料無料化 714万円
- 産後ケア事業委託料 14万円
- 認可外自然保育施設へ補助金 45万円
- 公衆無線LANサービス（Wi-Fi）67万円
- 移住定住推進事業 128万円
- 「花とハーブの里」再ブランド化 628万円
- 松本信金土地購入費 2605万円
- 中小企業振興円卓会議 37万円
- 内鎌地区水田区画整備費 1766万円

◎平成28年度一般会計補正予算の概要

- 町なかの拠点整備（スペースゼロ改修国地方創生交付金を活用） 9529万円
- 「日本で最も美しい村連合」看板撤去費（町の「日本で最も美しい村連合」退会決定による） 21万円

町議会3月定例会報告

◎社会資本総合整備事業・産業振興・町民福祉を進める

平成29年度一般会計予算議案を可決

町議会3月定例会は3月9日～21日まで開かれました。28の議案が提案され、全て議決されました。その概要をお知らせします。なお詳細は後日池田民報で報告します。

◎平成29年度一般会計予算議案賛成討論の概要

《共産党賛成討論の内容（服部久子）》≡予算案の評価すべき点と要望点を述べ、賛成する。

【評価すべき点】

- 福祉対策として第3子3歳以上保育料無料化、人間ドック補助金増などが実現したこと、産業振興対策として「花とハーブの里」再ブランド化事業が進められることなどを評価する。
- 【要望点】
- 介護予防の町総合事業で専門職員の充実と協力者養成を図ること。
- 児童センターの改善を図ること。
- 会染保育園を災害危険のない場所へ、早期に移転新築すること。

◎私の一般質問と町回答の概要

1. 町の文化資源を活かす施策を

【薄井】 町の文化資源を活かすため、次の施策の実施を。

- ①町で著名な短歌人である島木赤彦・岡麓が活躍し、町出身の浅原六朗（人間俳句）、荻原井泉水（父親が中島出身、自由律俳句）が俳人として活躍した。この伝統を引き継ぎ、町を「短歌・俳句の里」にするため、町民対象の「短歌・俳句づくりの初心者講座」・講演会を公民館で開催を。



池田八幡神社例大祭での舞台行事

- ②池田八幡神社例大祭の舞台・舟行事を町の無形文化財に指定を。

【教育長】

- ①公民館の講座として町民対象「短歌・俳句づくりの初心者講座」と講演会を開催を検討している。
- ②池田町文化財保護委員会での検討を諮問する。

2. 人口減少対策を

【薄井】 人口減少対策として次の施策の実施を。

- ①町へ移住定住する世帯への補助金制度の創設を。
- ②結婚を促進するために、国の「新婚生活支援補助金」の導入を。
- ③地域交流センター・スペースゼロの改修に併せ、町なか活性化のデザインを練る商工会・町・町民での検討委員会設置を。

【町長】

- ①来年度中の制度創設に向け検討している。

- ②来年度、事業実施入に向け検討する。
- ③それぞれの事業の進捗を見ながら検討する。

3. 町の大型建築工事に町内業者の受注機会増大を図る施策を

【薄井】 来年度、町は約4億2千万円をかけ地域交流センターの建築工事を行う。この工事への町内業者の受注機会増大を図るため次の施策の実施を。

- ①町内業者が施工できる仕事（電気工事・外構工事など）は分離分割発注（※1）を。
- ②入札要件として共同企業体の場合は町内業者の参加、単体の場合は「町内下請比率（※2）」の設定を。
- ③一般競争入札の落札方式として総合評価方式（※3）の導入を。また、最低価格落札方式をとる場合は、最低制限価格（予定価格に対する落札価格の割合）の引き上げを。

【副町長】① 研究検討する。

- ②・③ 昨年の9月議会と同じ質問を受けたが、未検討である。新しい企画政策課で早期に検討する。

※1仕事を分けて発注する。

※2工事費に占める町内業者施工費の割合。

※3入札価格・技術力・地域への貢献度などの項目を点数評価し、最高点の業者に落札する方式